

## 県や半導体企業が 国際展示会に出展 販路拡大へPR 【東京支社】県や県内の

セミコンジャパン九州パビリオンで新技術をPRする「スズキ」の関係者ら



半導体関連企業は13日から15日まで、東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された国際展示会「セミコンジャパン」の九州パビリオンに出展した。パビリオンには昨年の約2倍の42企業・団体がブー

スを並べた。半導体大手、台湾積体回路製造（TSMC）の熊本進出で「シリコンアイランド九州」に熱い視線が注がれた。

大分県関係では県LSIクラスター形成推進会議（119機関）の会員企業9社が出展した。「スズキ」（大分市）は、中央大発のベンチャー企業が開発した生物型移動ロボットを使っ

た配管メンテナンスの技術をPRした。

矢野勇同推進会議事務局長は「大分は産官学が連携し、生産から出荷まで一環して行うことができる。半導体関連産業が集積する強みをアピールし、販路拡大や人材確保、企業誘致につなげたい」などと話した。

（逆瀬川由夏）